

投資事業評価調書 (新規)

課室名	道路保全課	記入責任者職氏名 (担当者氏名)	道路保全課長 西垣 嘉夫 (土居 康成)	内線	4 3 8 9 (4 3 9 9)
-----	-------	---------------------	-------------------------	----	------------------------

事業種目	交通安全 施設整備	事業名	事業区間	総事業費	約 7 億円
		緊急地方道路整備事業 (主)三木山崎線	神崎郡福崎町東大貫		
所在地				着工予定年度	完成予定年度
神崎郡福崎町東大貫				平成 13 年度	平成 19 年度

事業目的	事業内容
交通安全対策 ・交通量の多い当該道路に自歩道を整備し、歩車分離を図り、交通安全対策を推進する。	自転車歩行者道整備 (両側) L = 6 5 0 m W = 3 . 0 (4 . 0) m

評価視点	
(1) 必要性 快適性・ゆとり	<ul style="list-style-type: none"> ・自動車交通量、歩行者交通量が多い。 (自動車 13,040 台/日、歩行者 265 人/日、自転車 135 台/日) ・学童・園児の交通量 (46 人/日)。 ・過去 5 年間の歩行者・自転車の交通事故件数 (6 件)。 ・死傷事故率が高い (351 人 / 億台 km)。 ・沿道は集落内にある。 ・自治会要望箇所 ・八千種小学校、福崎東中学校の通学路に指定されている。 ・幅広歩道の整備及び連続性確保。 ・前後の整備状況・・・両側整備済み。 ・植栽帯の設置
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・地元からの事業化に対して要望あり。
(2) 有効性・効率性 有効性	<ul style="list-style-type: none"> ・歩行者・自転車の安全が確保され、投資効果が期待できる。
効率性	<ul style="list-style-type: none"> ・円滑な用地取得に向けて、福崎町と用地取得体制に関する協議済み。
(3) 環境適合性	植樹帯の採用、透水性舗装の採用
(4) 優先性	当該箇所は、自動車交通量、歩行者・自転車交通量が多く、過去 5 年間に歩行者・自転車利用者の交通事故が発生しており、八千種小学校及び福崎東中学校の通学路に指定されている。このため、早急に自転車歩行者道の整備を行う必要がある。

評価 の結果	着手妥当	左 の 理 由	審査の結果、事業着手が妥当と認められた。
-----------	------	------------------	----------------------